

「第2回愛知県長良川河口堰最適運用検討委員会」に関する傍聴者の御意見と傍聴者の質問に対する回答など

氏 名	御 意 見	質問に対する回答など
神谷 明彦	<p>河口堰の開門の目的は、長良川環境を元に戻すことにあるとの考えには共感します。加えて、環境が元に戻るにより、ヤマトシジミ、サツキマス、アユなどが戻ってくれば、尚結構なことだと思います。</p> <p>河口堰開門へ向けてクリアすべき社会的課題は、塩水遡上の不安への対応と、知多半島の水道水の代替水源の確保にあると思います。</p> <p>木曾川、揖斐川を調査して、国土交通省の塩水遡上のシミュレーションの信頼性を検証するなど、試行可能なことを早急にすべきと考えます。</p> <p>知多半島の水道水の水源については、平常時に木曾川で対応可能なことを示すのみでなく、渇水時や緊急時の対応策についても可能な限り提示」することが、知多半島の住民の安心につながると考えます。</p> <p>粘り強く議論を重ねて、知多半島の飲料水の水源が木曾川に戻ることを心から願っています。</p>	